

## 令和元年度事業報告書

(平成31年3月1日～令和2年2月29日)

### 会員の移動状況書

会員種別	員 数		増減数
	令和2年2月29日 現在	平成31年2月28日 現在	
名誉会員	52	50	2
永年会員	330	291	39
正会員	3628	3776	-148
学生会員	382	429	-47
維持会員	197.5	200.5	-3
特別会員	539	542	-3
公益会員	328	347	-19
計	5456.5	5635.5	-179

#### 1. 第8回定時総会（定款第17条）

日時 平成31年4月23日

場所 五反田文化会館第1会議室 参加者数 120名

#### 2. 会誌、研究報告及び資料の刊行（定款第5条（1））

①学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成31年3月5日	2019 3	5900
至 令和2年2月5日	2020 2	5800

毎月1回5日に発行

②和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成31年3月5日	68 3	2000
至 令和2年1月5日	69 1・2	2000

毎月1回5日発行（2019年）

1, 3, 4, 6, 7, 9, 10, 12月5日発行（2020年）

③英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号	発行部数
自 平成31年3月10日	35 3	620
至 令和2年2月10日	36 2	620

毎月1回10日に発行

④英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻 号
自 平成31年3月10日	35 3
至 令和2年2月10日	36 2

毎月1回10日に発行

⑤メールマガジンを毎月1回発行した（配信数3100）。

⑥次の書籍を編集し、発行した。

- 1) 分析化学実技シリーズ機器分析編15「走査型プローブ顕微鏡」（共立出版）
  - 2) 「第3回LC/MS分析士三段試験解説書」（本会）
  - 3) 「第4回LC分析士初段試験解説書」（本会）
- ⑦教育用DVD並びにビデオシリーズの頒布を行った。

#### 3. 講演会、講習会及び研究会の開催（定款第5条（2））

[研究発表会]

①第79回分析化学討論会

日時 令和元年5月18日・19日

場所 北九州国際会議場&AIM 参加者数 880名

②第68年会

日時 令和元年9月11日～13日

場所 千葉大学西千葉キャンパス 参加者数 1250名

③5th Asian Symposium on Analytical Sciences

日時 令和元年9月11日

場所 千葉大学西千葉キャンパス 参加者数約50名

④特別公開シンポジウム「産業界シンポジウム-分析部門における産学連携/社外大型設備の活用-」

日時 令和元年9月11日

場所 千葉大学西千葉キャンパス 参加者数約150名

⑤特別公開シンポジウム「産業界シンポジウム-AI, MI時代への期待と課題II-企業におけるコンピュータサイエンスの現状」

日時 令和元年9月12日

場所 千葉大学西千葉キャンパス 参加者数約150名

⑥日本学術会議化学委員会化学分科会企画講演会「イノベーション創出に向けた計測分析プラットフォームの構築～どんな基盤をつくり何を指すか～」日本分析機器工業会・日本分析化学会・科学技術振興機構 共同主催

日時 令和元年9月4日

場所 幕張メッセ国際会議場 参加者数約110名

[講習会]

①第38回分析化学基礎セミナー（無機分析編）

日時 令和元年6月24日・25日

場所 株式会社津島製作所東京支社 参加者70名

②第31回分析化学における不確かさ研修プログラム

日時 令和元年6月27日・28日

場所 日本電気計器検定所本社 参加者14名

③第32回分析化学における不確かさ研修プログラム

日時 令和元年10月3日・4日

場所 日本電気計器検定所本社 参加者11名

④分析信頼性実務者レベル講習会「第19回ダイオキシン類分析技術セミナー」

日時 令和元年10月17日・18日

場所 株式会社津島製作所東京支社 参加者17名

⑤分析信頼性実務者レベル講習会「第23回水中の微量金属成分分析」

日時 令和元年10月25日及び令和2年1月24日

場所 五反田文化会館 参加者8名

⑥分析信頼性実務者レベル講習会「第18回セラミックス原料・鉱石類分析技術セミナー」

日時 令和元年10月31日・11月1日

場所 五反田文化会館 参加者7名

⑦第4回電池開発のための分析・解析技術講習会

日時 令和元年11月29日

場所 大田区産業プラザ 参加者14名

⑧分析信頼性実務者レベル講習会「第20回金属分析技術セミナー」

日時 令和元年12月5日・6日

場所 五反田文化会館 参加者14名

⑨第33回分析化学における不確かさ研修プログラム

日時 令和2年1月30日・31日

場所 日本電気計器検定所本社 参加者20名

⑩第9回分析化学の基本と安全セミナー

日時 令和2年2月6日

場所 飯田橋レインボービル 参加者46名

#### 4. 調査、研究及び建議（定款第5条（3））

[JIS]

①平成27年度区分Cの日本規格協会の委託による「分析化学用語（熱分析部門）」新規規定の原案作成については再審議案件となり、平成30年度区分Aの再委託を受け、平成30年10月30日に成果報告し、審議待ちであった。令和元年6月21日対面審議が行われたが、承認されなかった。学会規格として発行を検討中。

②平成31年度区分Aの日本規格協会の委託に基づき、JIS Z 2613「金属材料の酸素定量方法通則」の改正原案作成を行った。令和2年2月12日に成果報告し、審議待ちである。

[技能試験]

事業所を対象とした技能試験を次のとおり実施し、結果に基づく「技能試験成果報告書」を公刊した。

①ISO/IEC 17043に基づく技能試験「第1回河川水中の無機多成分分析」

- ② ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 21 回ダイオキシン類分析(模擬排水)」
- ③ ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 15 回プラスチック中有害金属成分の分析(有害物質規制/RoHS 指令対応)」
- ④ ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 4 回放射能分析(牛肉)」
- ⑤ ISO/IEC 17043 に基づく技能試験「第 3 回土壤中無機成分分析」

[標準物質]

新ロットとしての、河川水認証標準物質、土壤認証物質の均質性試験ならびに共同実験を行い、頒布開始した。  
フタル酸エステル化学分析用プラスチックについて、技能試験を行い、標準物質として頒布開始した。  
新規標準物質として、マグネシウム認証標準物質について、均質性試験ならびに 18 機関による共同実験を行い、頒布開始に向けて準備中である。

[関係団体との協力]

- ① 次の諸団体に参画し、種々の調査・建議に協力した。  
日本学術会議, JABEE/化学分野 JABEE 委員会, (一社)化学情報協会, (公社)新化学技術推進協会グリーンサステナブルケミストリーネットワーク, (公社)日本工学会, 標準物質協議会, ASIANALYSIS 国際諮問委員会
- ② 次の委員会に委員を派遣して各種規格の立案等に協力した。  
(一財)日本規格協会, (一社)日本化学工業協会, (国研)産総研計量標準管理センター, (一社)日本試薬協会, (公社)日本セラミックス協会, (一社)日本環境測定分析協会, (公社)日本適合性認定協会, (一社)日本分析機器工業会

5. 研究の奨励及び研究業績の表彰(定款第 5 条(4))

- ① 2019 年度学会賞を次のとおり授与した。  
大谷 肇 君「試料の分解反応を利用する実用ポリマー材料分析法の開発と応用」  
竹中 繁織 君「四本鎖 DNA 構造を利用した新しい分析法の開発」  
辻 幸一 君「高感度化と多次元化を目指した新規 X 線元素分析法の開発と応用研究」
- ② 2019 年度学会功労賞を次のとおり授与した。  
田中 俊逸 君「環境汚染物質の電気化学的検出と分離科学に基づく環境修復技術の開発に関する研究及び学会への貢献」  
藤原 学 君「考古・環境・金属試料の電子状態分析に関する研究及び学会への貢献」  
横井 邦彦 君「電気化学的高感度分析法の開発ならびに分析化学教育と学会への貢献」  
横山 拓史 君「資源・環境化学分野における分析化学ならびに学会への貢献」
- ③ 2019 年度技術功績賞を次のとおり授与した。  
三宅 司郎 君「抗体を用いることによる新規分析技術の開発とその応用」  
宮野 博 君「アミノ酸メタボロミックスのプラットフォーム構築と社会実装」  
山本 博之 君「量子ビームを利用した表面ナノ領域における解析技術の高度化と普及」
- ④ 2019 年度奨励賞を次のとおり授与した。  
勝田 陽介 君「核酸を使った生体分子観察システムの開発及び RNA 非標準型特殊核酸構造同定システムの開発」  
小林 宏資 君「モノリス型シリカカラムの開発と多様な分離分析への応用」  
下赤 卓史 君「プロトン伝導膜中の吸着水及び有機フッ素鎖の役割に関する振動分光学的研究」  
田邊 一郎 君「機能性材料の遠紫外域における電子励起吸収分光研究」  
西尾 友志 君「新規 pH ガラス電極に関する研究」
- ⑤ 2019 年度先端分析技術賞を次のとおり授与した。  
JAIMA 機器開発賞  
片岡 由行 氏・河野 久征 氏・河原 直樹 氏・越智 寛 友 氏・西埜 誠 氏・中村 秀樹 氏  
「ファンダメンタルパラメータ法(FP法)の開発と蛍光 X 線定量分析の高精度化」

高貝 慶隆 氏・古川 真 氏・松枝 誠 氏・亀尾 裕氏・鈴木 勝彦 氏

「放射性ストロンチウムの迅速分析装置の開発」

- ⑥ 2019 年度女性 Analyst 賞を次のとおり授与した。  
上野 祐子 君「分子認識機能材料の創生とマイクロ分析への応用」  
吉田 裕美 君「液液、膜界面でのイオン分配に関する電気化学的理解と分析法への応用」
- ⑦ 2019 年度有功賞を次のとおり授与した(敬称略)。  
城 昇 稲富 雄作 布施みどり 佐川真由美  
藤枝真優美 林 信一朗 白土 利喜 岡田 章司  
大崎 賢次 松井 亨 佐藤 栄 櫛田 芳昭  
田中 広 六車 進 宮田 克彦 増井 耕一  
広瀬 幹夫 山田 裕子 奥沢 利博 川原田 稔  
内本 敦之 畠中 由美 片山 伸二 齊藤 新一  
桧川美智代 栗木 智子 田中 靖文 奥村 真一  
山口 雅子 高橋久美子 井形 易史 鎌苅 千絵  
古巢 芳文 熊澤 健治 川端 広志 中山 雅彦  
工藤 英博 加藤 浩市 岡田 恭弘 坂本 克弘  
小島 充 中尾 辰也 横山 雅子 岡本 浩二  
中村 博文 泉 弘美 村重 昭則 峰 和久  
青木 真里 天野 純一 高橋 文佳

- ⑧ 2018 年「分析化学」論文賞を次のとおり授与した。  
論文題名『大気中揮発性メチルシロキサン類分析法の開発と環境モニタリングへの適用』  
著者名:堀井 勇一<sup>1</sup>・蓑毛 康太郎<sup>1</sup>・大塚 宜寿<sup>1</sup>・茂木 守<sup>1</sup>・竹峰 秀祐<sup>1</sup>・山下 信義<sup>2</sup>(<sup>1</sup>埼玉県環境科学国際センター,<sup>2</sup>(国研)産業技術総合研究所)  
所載ページ:「分析化学」第 67 巻第 6 号, 313~322 ページ
- ⑨ 他機関による表彰及び研究助成に対し会員を候補者として推薦した。

6. その他前条の目的を達成するために必要な事業(定款第 5 条(5))

[分析士認証事業]

- ① 液体クロマトグラフィー分析士五段・三段・二段・初段試験を行い、合格者の登録を行った。
- ② LC/MS 分析士四段・三段・二段・初段試験を行い、合格者の登録を行った。
- ③ イオンクロマトグラフィー分析士三段・初段試験を行い、合格者の登録を行った。

[広報]

広報委員会展望とトピックス小委員会において、第 79 回分析化学討論会及び第 68 年会研究発表の中で注目される研究内容を記者会見し、展示、小冊子の発行ならびにホームページを通して広報した。

[若手交流会]

第 79 回分析化学討論会および日本分析化学会第 68 年会において若手ポスター賞選考を支援した。各支部での若手交流会企画を共催および支援した。

[研究懇談会]

研究懇談会活動を次のように行った。

- ① 有機微量分析研究懇談会  
【委員長:榊飛雄真(千葉大学), 委員 11 名, 会員数 177 名(個人会員 171 名, 顧問 6 名)】委員会を 2 回。第 86 回有機微量分析研究懇談会, 第 110 回計測自動制御学会力学量計測部会, 第 36 回合同シンポジウムを 6 月 13 日・14 日, 京都府京都市(京都大学大学院薬学研究科)で開催(計測自動制御学会力学量計測部会と共催, 日本分析化学会, 日本化学会, 日本薬学会協賛)し, 特別講演 3 件, 口頭発表 16 件, ポスター発表 23 件, その他各委員会報告および技術研修会を行った。講演会(第 68 年会 9 月 11 日, 千葉大学西千葉キャンパス, 招待講演 1 件), 第 16 回マイクロ電子天びん技術研修会(9 月 2 日, 京都大学大学院薬学研究科)および第 17 回マイクロ電子天びん技術研修会(1 月 24 日, 理化学研究所)を開催したほか, 会報 21 号を発行(2 月)した。
- ② ガスクロマトグラフィー研究懇談会  
【委員長:佐藤 博(長崎国際大学), 運営委員会委員 55 名,

会員数 89 名(個人会員 44 名, 団体会員 45 機関, 名誉会員 13 名)】運営委員会を 6 回開催した。研究会開催数: 8 回(第 364 回~371 回, 特別講演会, JAIMA コンファレンスの講習会(GC 編とセパレーションサイエンス編))開催, 分析化学年会での講演会を含む)。また第 25 回キャピラリーガスクロマトグラフィー講習会(8 月 7 日~9 日, 麻布大学)を開催した。本部主催の日中韓シンポジウム 2019(慶熙大学国際キャンパス)を開催支援した。奈良文化財研究所(364 回)と東京都健康安全研究センター(366 回)の 2 回の見学会を行った。更に, 書籍「役に立つ GC 分析」を改訂して, 「ガスクロ・ガスマス自由自在」として出版する準備を進めた。

#### ③高分子分析研究懇談会

【委員長: 石田康行(中部大学), 運営委員会委員 14 名, 会員数 162 名(個人会員 60 名, 法人会員 102 社)】開催数: 例会 4 回(第 397 回~400 回, 第 398 回は 1 泊 2 日の夏期合宿として開催, また当初予定していた第 401 回はコロナ禍のために延期)。さらに第 68 年会において研究懇談会講演(9 月 12 日, 千葉大学), 第 59 回・第 60 回高分子分析技術講習会(明治大学駿河台校舎), 第 24 回高分子分析討論会(10 月 24 日・25 日, つくば国際会議場)をそれぞれ開催した。

#### ④X線分析研究懇談会

【委員長: 辻 幸一(大阪市立大学), 運営委員 28 名, 参与 9 名, 会員数 141 名(個人会員 123 名, 団体会員 18 社)】開催数: 例会 4 回(第 267 回・270 回), 運営委員会 2 回。「X線分析の進歩」第 50 集をアグネ技術センターより出版したほか, 第 55 回 X 線分析討論会(10 月 30 日・31 日, コラッセふくしま, 参加者 116 名)を主催した。第 14 回浅田榮一賞を阿部善也氏(東京理科大学)に授与し, X 線分析討論会において 2 件の学生賞を授与し授与した。

#### ⑤分析試薬研究懇談会

【委員長: 片山佳樹(九州大学), 運営委員会委員 17 名, 参与委員 15 名, 会員数 103 名(個人会員 100 名, 賛助会員 3 名)】開催数: 1 回。第 68 年会において, 分析試薬研究懇談会(9 月 13 日, 千葉大学, 講演 2 件)を開催した。また第 17 回ホスト・ゲスト化学シンポジウム(筑波大学)の共催を行った。

#### ⑥溶液界面研究懇談会

【委員長: 塚原 聡(大阪大学), 運営委員 10 名, 個人会員 104 名】開催数: 1 回。千葉大学で開催された第 68 年会の「界面・微粒子」セッションの中で 2 件の講演(9 月 12 日)を行った。

#### ⑦液体クロマトグラフィー研究懇談会

【委員長: 中村 洋(東京理科大学), 役員会役員の数: 40 名, 会員数: 210(個人会委員: 151 名, 団体会員: 59 社)】開催数: 12 回(第 333 回・344 回)。また第 24 回特別講演会・見学会(7 月 19 日, 富士電機機器制御), 第 25 回特別講演会・見学会(2 月 13 日, 黄桜・伏見蔵), LC- & LC/MS-DAYs 2019(11 月 25 日・26 日, マホロバ・マインズ三浦), 第 25 回 LC & LC/MS テクノプラザ(2020 年 1 月 21 日・22 日, 横浜情報文化センター), 運営委員会総会 I(5 月 21 日・22 日), 運営委員会総会 II(2020 年 2 月 19 日・20 日)及び創立 45 周年記念式典・講演会・祝賀会(12 月 3 日, 味の素)を開催し, 創立 45 周年記念出版「日本における HPLC, LC/MS 発展の歴史」を刊行した。このほか関東支部主催第 59 回機器分析講習会の第 2 コース「高速液体クロマトグラフィーの基礎と実践」(10 月 23 日~25 日, 慶應義塾大学薬学部), 及び JAIMA セミナー「これであなたも専門家」の LC 編(9 月 5 日, 幕張メッセ), 「これであなたも専門家」のセパレーションサイエンス編(9 月 6 日, 幕張メッセ)を共同担当し, 第 15 回千葉県分析化学交流会(1 月 24 日, 日本大学薬学部), 第 11 回生涯分析談話会(5 月 17 日, 九州工業大学), 第 12 回生涯分析談話会(9 月 11 日, 千葉大学)をそれぞれ後援した。また, 「第 3 回 LC/MS 分析士三段試験解説書」(日本分析化学会)及び「第 4 回 LC 分析士初段試験解説書」(日本分析化学会)の実質的な編集・執筆を担当した。さらに, 第 1 回分析士会特別講演会・見学会(11 月 8 日, 理化学研究所横浜キャンパス)を後援した。

#### ⑧化学センサー研究懇談会

【委員長: 久本秀明(大阪府立大学), 会員数 45 名(個人会

員 45 名)】会員名簿の更新を行った。第 68 年会において化学センサー研究懇談会講演を行った(9 月 13 日, 千葉大学西千葉キャンパス)。東北大学の西澤精一先生に講演をお願いし, 「三重鎖核酸形成に基づく RNA センシング: ペプチド核酸と有機小分子の活用」を拝聴した。多くの参加者があり, 議論も盛況であった。その後, 研究懇談会会議を実施し, 賞の推薦案件等を審議した。また, 今後の活動について意見交換を行った。

#### ⑨電気泳動分析研究懇談会

【委員長: 江坂幸宏(岐阜薬科大学), 顧問 7 名, 常任委員 13 名, 委員 37 名】第 39 回キャピラリー電気泳動シンポジウム(SCE2019, 11 月, 埼玉)を主催した。また電気泳動分析懇談会賞(寺部茂賞)の表彰を行った。第 6 回寺部茂賞は岐阜薬科大学江坂幸宏准教授に授与された。

#### ⑩イオンクロマトグラフィー研究懇談会

【委員長: 森 勝伸(高知大学理工学部), 運営委員会委員 24 名, 会員数 83 名(個人会員 75 名, 維持会員 7 社, 団体会員 1 社)】IC 講習会(9 月 4 日~6 日, JAIMA セミナー10「これであなたも専門家-IC 編」, JAIMA セミナー11「これであなたも専門家-セパレーションサイエンス編」, 幕張メッセ)を行った。セミナー参加者約 2 万人の内, IC セミナー参加者 85 名。CJK2018(10 月 11 日~14 日, Kyung Hee University (Global Campus), Yongin, Korea および 2019APIA:Asia-Pacific Symposium on Ion Analysis(11 月 6 日~9 日, KRIS, Deajeon, Korea)の実施に協力した。第 36 回イオンクロマトグラフィー討論会(東工大キャンパス・イノベーションセンター東京, 参加者 67 名)を開催した。運営委員会を 2 回(9 月 12 日, 千葉大学西千葉キャンパス千葉ヨウ素資源イノベーションセンターおよび 12 月 13 日, 東工大キャンパス・イノベーションセンター東京)開催した。認証専門委員会を 2 回(6 月 28 日および 2020 年 1 月 31 日)開催した。IC 分析士初段試験の実施及び認定に協力した。分析化学特集号(日本分析化学会)の実質的な編集・執筆を担当した。

#### ⑪フローインジェクション分析研究懇談会

【委員長: 手嶋紀雄(愛知工業大学), 運営委員会委員 49 名, 会員数 118 名(個人会員 98 名, 賛助会員 10 名, 特別賛助会員 10 社 20 口)】講演会を 2 回(FIA 講演会(10 月 11 日, 愛知工業大学), 年会会期中(9 月 11 日, 千葉大学)), を開催したほか, Journal of Flow Injection Analysis 誌の発行(36 巻 1, 2 号)及びそのための編集委員会を 2 回(5 月 19 日, 北九州国際会議場と 10 月 11 日, 愛知工業大学), また褒賞委員会を 1 回(年会会期中, 9 月 12 日, 千葉大学)開催した。CJK symposium on analytical science 2019(10 月 11 日~14 日, 慶熙大学国際キャンパス)を GC, LC, FIA, 環境分析各研究懇談会と協力支援した。

#### ⑫環境分析研究懇談会

【委員長: 梅村知也(東京薬科大学), 委員 8 名, 顧問 7 名, 会員数 81 名(個人会員 78 名, グループ会員 3 名)】第 36 回講演会を年会会期中(9 月 12 日, 千葉大学)に開催(埼玉県環境科学国際センター堀井勇一氏の分析化学論文賞受賞講演)するとともに, 運営委員会を開催した。また, 第 32 回環境工学連合講演会(5 月 21 日, 日本学術会議講堂)に演者を推薦したほか, 懇談会ホームページやメーリングリストを介して, 会員各位に環境関連の情報を適宜提供した。

#### ⑬表示・起源分析技術研究懇談会

【委員長: 安井明美((国研)農業・食品産業技術総合研究機構), 運営委員会委員 17 名, 個人会員 58 名, 団体会員 15 社】講演会を 3 回(第 21 回を 8 月 8 日東京電機大学千住キャンパスにおいて, 9 月 11 日第 68 年会において, フード・フォーラム・つくばとのジョイント講演会/第 22 回を 12 月 2 日フクラシア八重洲において)開催した。運営委員会を 1 回, 第 21 回講演会時に開催した。

#### ⑭レアメタル分析研究懇談会

【委員長: 小熊幸一(元千葉大学), 運営委員会委員: 11 名, 会員数: 20 名(個人会員のみのみ)】9 月 13 日に運営委員会及び講演会を第 68 年会会場(千葉大学)にて開催した。

#### ⑮熱分析研究懇談会

【委員長: 西本右子(神奈川大学), 運営委員会委員 4 名, 個人会員 20 名, 団体会員 8 社】講演会を 1 回(9 月 12 日に第

68 年会会場において)開催した。第 3 回熱分析討論会(6 月 28 日, つくば国際会議場)開催, 同日午前にチュートリアル開催。

⑯溶液反応化学研究懇談会

【委員長:梅林泰宏(新潟大学), 運営委員会委員 18 名, 会員数 18 名(個人会員 18 名, 賛助会員 0 名)】講演会ならびに運営委員会を 9 月 12 日の分析化学会第 68 年会(千葉大学)で開催した。

⑰受託分析研究懇談会

【委員長:中田邦彦, 運営委員会委員 14 名, 会員数 20 名(個人会員 16 名, 賛助会員 0 名, 法人 5 口)】例会(技術情報交換会および運営委員会)を 2 回開催し, 今後の運営について議論した。

⑱電気分析化学研究懇談会

【委員長:前田耕治(京都工芸繊維大学), 運営委員会委員 25 名, 顧問 3 名】5 月に北九州市で開催された第 79 回分析化学討論会において, 本懇談会運営委員の三林浩二先生をオーガナイザーとして, 討論主題「医療・環境のための超微量バイオ/化学センシング」のセッションを 2 日間にわたって主催し, 依頼講演 4 件, 一般講演 11 件の口頭発表が行われた。また, 9 月に千葉市で開催された第 68 年会では, 1 日目に, 懇談会主催で学長泰明先生によるダイヤモンド電極による電気化学計測に関する依頼講演を実施し, 活発な質疑が行われた。また, 同年会会期中に運営委員会を開催し, 今後の運営について議論した。

⑲ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会

【委員長:渡慶次学(北海道大学), 副委員長:火原彰秀(東北大学), 会員数:約 30 名(個人会員のみ)】9 月 5 日~7 日に開催された JASIS(幕張メッセ)での RSC Tokyo International Conference 2019 に協力した。9 月 11 日に運営委員会, 9 月 13 日に講演会を第 68 年会会場(千葉大学)にて開催した。3 月 1 日~5 日に開催された Pittcon2020(シカゴ)での PAI-NET Contributed Session「Immunoassay and Aptamer Assay: Instrumentation and Molecular Approach」に協力した。

⑳バイオ分析化学研究懇談会

【委員長:佐藤守俊(東京大学), 運営委員会委員 9 名, 顧問 2 名, 会員数 11 名(個人会員 11 名, 賛助会員 0 名)】第 68 年会会場(千葉大学)にて, 9 月 12 日に運営委員会, および, 山田真澄先生をお招きして講演会を開催した。また, 8 月 9 日・10 日に「第 8 回 Chem-Bio Joint Seminar 2019」を大学セミナーハウス(東京都八王子市)にて開催した。

㉑スクリーニング分析研究懇談会

【委員長:津越敬寿(産業技術総合研究所), 運営委員会委員 7 名, 会員数 12 名(個人会員 8 名, 団体会員 4 口)】9 月 13 日に第 3 回講演会(第 68 年会会場, 千葉大学)を開催し依頼講演 1 件の口頭発表が行われた。また, 1 月 24 日に日立ハイテクサイエンス・東京ソリューションラボにおいて運営委員会を開催すると共に, 第 4 回講演会『工業材料などのスクリーニング技術の最新動向』を開催し, 4 件の依頼講演とラボ見学が行われた。

[支部]

支部活動を次のように行った。

【北海道支部】

①役員を選任

支部長	伊藤 慎二		
副支部長	蠣崎 悌司	渡慶次 学	
参 与	石本 裕	伊藤八十男	片岡 正光
	片山 則昭	喜多村 昇	神 和夫
	那須 淑子	橋村 雅之	長谷部 清
	藤吉 亮子	森田みゆき	大谷 友二
監 事	加藤 昌子	宇都 正幸	
庶務幹事	三原 義広	三浦 篤志	
会計幹事	石田 晃彦	坂入 正敏	
幹 事	青柳 直樹	上野 貢生	大木 淳之
	大津 直史	奥田 弥生	菅 正彦
	(木村)須田 謙美	工藤 英博	黒澤 隆夫
	齋藤 健	齋藤 徹	堺井 亮介
	鈴木 智宏	高瀬 舞	高橋 徹
			田中 俊逸

谷 博文	田原るり子	千葉 真弘	敦賀 昇
富田 恵一	中田 耕	中谷 暢丈	西村 一彦
藤井 翔	古崎 睦	真栄城正寿	松井 宏之
南 尚嗣	村井 毅	諸角 達也	山田 幸司
吉田 将己	吉村 昭毅		

②研究発表会

- 1) 夏季研究発表会(共催):7 月 20 日, 苫小牧工業高等専門学校(苫小牧市)で開催, 一般講演 91 件, 特別講演 2 件(参加者 147 名)。ホテルウイングインターナショナル苫小牧にて懇親会を行った(参加者 43 名)。
- 2) 化学教育研究協議会(共催):11 月 16 日, 北海道科学大学サテライトキャンパスで開催, 講演 1 件, 分析化学若手教育研究者による話題提供, 自由討論, 懇親会を行った(参加者 69 名)。
- 3) 冬季研究発表会(共催):1 月 28 日・29 日, 北海道大学創成科学研究棟で開催, 研究発表 204 件, (口頭 103 ポスター 101), 特別講演 1 件(参加者 389 名)。また懇親会を行った(参加者 43 名)。

③セミナー

- 1) 第 35 回分析化学緑陰セミナー:6 月 29 日・30 日, 支笏湖ユースホステル(千歳市)にて開催, 講演 5 件, ポスター講演 16 件, 懇親会を行った(参加者 48 名)。
- 2) 2019 年公開セミナー:12 月 13 日, 室蘭工業大学(室蘭市)にて開催, 講演 2 件を行った(参加者 65 名), 懇親会を行った(参加者 6 名)。
- 3) 第 55 回氷雪セミナー:1 月 11 日・12 日, ふとみ銘泉万葉の湯(石狩郡当別町)で開催, 講演 3 件, 懇親会を行った(参加者 27 名)。

【東北支部】

①役員を選任

支部長	壹岐 伸彦		
副支部長	遠藤 昌敏	西澤 精一	
参 与	秋葉 健一	石井 一	宇野原信行
	大関 邦夫	大類 洋	尾形 健明
	長 哲郎	小田嶋次勝	後藤 順一
	佐藤 允美	南原 利夫	星野 仁
	四ツ柳隆夫		
監 事	岩田 吉弘	糠塚いそし	
庶務幹事	大野 賢一		
会計幹事	唐島田龍之介		
幹 事	赤坂 和昭	石川大太郎	伊藤 徹二
	伊野 浩介	井上 久美	井上 亮
	大橋 弘範	小川 信明	押手 茂克
	柏倉 俊介	上條 利夫	菊地 洋一
	熊谷 将吾	佐藤 勝彦	佐藤 健二
	猿渡 英之	珠玖 仁	志村 清仁
	平 修	高貝 慶隆	田副 博文
	寺前 紀夫	照井 教文	仲川 清隆
	中山 健一	南雲 誠心	西澤 松彦
	橋本 幹雄	火原 彰秀	平野 愛弓
	福島美智子	福村 裕史	藤村 務
	松村 洋寿	眞野 成康	盛田 伸一
	和久井喜人	渡辺 壺	渡辺 健一
			渡辺 忠一

②研究発表会

- 1) みちのく分析科学シンポジウム 2019:7 月 20 日, 東北大学大学院環境科学研究科本館で開催された。特別講演 1 件, ポスター講演 17 件が行われ, 44 名の参加があった。
- 2) 2019 年度化学系学協会東北大会(主催:日本化学会東北支部, 共催:日本分析化学会東北支部):9 月 21 日・22 日, 山形大学小白川キャンパスにて開催された。377 件の講演があり, 576 名の参加があった。

③セミナー

- 1) 分離機能とセンシング機能の化学セミナー 2019:3 月 9 日, 東北大学大学院環境科学研究科本館にて開催した。招待講演 2 件が行われ, 21 名の参加があった。
- 2) 2019 年度日本分析化学東北支部若手交流会:11 月 8 日, 東北大学青葉山キャンパス合同 C 棟 2 階青葉サイエンスホールにて開催した。招待講演 3 件, ポスター講演 18 件を行い, 46 名の参加があった。

④セミナー等共催事業

- 1) 電池搭載技術セミナー：6月7日，岩手県工業技術センター大ホールにて開催された。講演3件を行い，61名の参加があった。
- 2) 分析（定性・定量）技術セミナー：7月5日，岩手県工業技術センター大ホールにて開催された。講演5件を行い，74名の参加があった。
- 3) 第23回ESRフォーラム研究会：7月20日，弘前大学大学院保健学研究科F棟1階大学院講義室1にて開催された。特別講演6件，口頭講演5件，ポスター講演12件を行い，46名の参加があった。
- 4) International Symposium on Analytical Electrochemistry 2019 (ISAE2019)：8月25日・26日，東北大学材料科学高等研究所本館および秋保温泉岩沼屋麗景館にて，特別講演1件，招待講演13件，ポスター講演16件が開催され，39名の参加があった。
- 5) ローズ対応分析セミナー：1月23日，岩手県工業技術センター大ホールにて開催された。講演3件を行い，69名の参加があった。

【関東支部】

①役員の選任

支 部 長	早下 隆士			
次期支部長	藤浪 真紀			
副支部長	川田 哲	山本 博之		
参 与	梅澤 喜夫	岡田 哲男	大橋弘三郎	
小 熊 幸一	金澤 秀子	楠 文代	合志 陽一	
澤田 清	渋川 雅美	菅原 正雄	杉谷 嘉則	
高田 芳矩	高村喜代子	田中 龍彦	角田 欣一	
中込 和哉	中村 洋	二瓶 好正	丹羽 修	
平井 昭司	保母 敏行	前田 瑞夫	宮村 一夫	
望月 直樹	矢野 良子	山崎 素直	山根 兵	
監 事	本田 俊哉	安田 純子		
常任幹事	会田 秀樹	石川 隆一	岩崎 雄介	
上野 祐子	上原 伸夫	梅林 泰宏	梅村 知也	
大塚 克弘	勝田 正一	国村 伸祐	桑原 哲夫	
小谷 明	齊藤 伸吾	坂元 秀之	坂本 美穂	
佐藤 香枝	敷野 修	四宮 一総	東海林 敦	
菅原 一晴	鈴木 憲子	鈴木 康志	谷合 哲行	
津越 敬寿	豊田 太郎	並木 健二	林 英男	
平山 直紀	吉田 達成			
支部幹事	青木 寛	植田 郁生	岡村 浩之	
上村 真生	管 雅英	癸生川陽子	菅沼 こと	
高橋あかね	土戸 優志	長瀬 健一	丹羽 宏之	
野元 邦治	半田友衣子	南 豪	村田 英明	
森岡 和大				

②研究発表会

- 1) 第33回新潟地区部会研究発表会：9月20日，新潟大学五十嵐キャンパスにおいて開催，特別講演2件，一般講演6件，ポスターセッション20件新潟地区部会若手授賞式・情報交換会を行った（参加者77名）。
- 2) 第16回茨城地区分析技術交流会：11月29日，いばらき量子ビーム研究センターにおいて開催，特別講演4件，ポスターセッション28件，及び情報交換会を行った（参加者108名，情報交換会出席者73名，協賛企業20社（内展示13社））。

③講習会

- 1) 第59回機器分析講習会：第4コース4月18日～19日に，(株)日立ハイテクサイエンス・サイエンスソリューションラボ（受講者21名），第60回機器分析講習会：第1コース6月13日・14日，アジレントテクノロジー（受講者34名のうち実習30名），第2コース10月23日～25日，慶應義塾大学（受講者31名）を開催し，第3コースは実施しなかった。
- 2) 第34・35回分析化学基礎実習講座：8月29日・30日，東京理科大学（受講者35名），2月13日・14日（受講者22名）パーキンエルマー・ジャパンで各々開催した。

④講演会・セミナー

- 1) 第2回横浜セミナー：7月26日，ホテル横浜ガーデンにおいて開催（参加者56名）。講演9件，企業展示，情報交

換会などを実施した。

- 2) 令和元年度関東支部若手交流会：7月5日・6日，マホロバ・マインズ三浦（神奈川県）にて開催した（参加者66名）。支部長講演を含む7件の講演，ポスター発表，企業展示等が行われた。
- 3) 新世紀賞・（新人賞）講演会・新年交流会：1月8日，秋葉原ダイビル18階(株)日立製作所において開催した。新世紀賞は，候補者なし，新世紀新人賞は，中村圭介（産業技術総合研究所），山本翔太（物質材料研究機構）の両氏が受賞。
- 4) 分析イノベーション交流会キックオフミーティング：2020年1月23日・24日，オルガノ(株)にて開催した。招待セミナー3件，主題討論口頭発表「マイクロプラスチック」4件「リチウムイオン電池」3件，一般口頭発表9件，話題提供（「分析化学」誌推薦）2件，話題提供（茨城地区交流会推薦）2件，展示22件（内企業展示17社），ポスター発表26件（内企業発表14社）（のべ参加者数143名，情報交換会出席者78名，参加企業53社）。

⑤各県分析化学交流会

- 1) 第15回千葉県分析化学交流会：1月24日，日本大学薬学部において開催した（参加者40名）。講演3件，施設見学会，情報交換会などを実施した。
- 2) 第1回群馬・栃木地区分析技術交流会：12月20日，宇都宮大学工学部において開催した。支部長講演を含む3件の講演が行われた（参加者71名）。

⑥支部ニュースの発行

関東支部ニュース第30号の発行を予定している。今号から冊子体は廃止し，pdf版のみをHP上で公開する。

【中部支部】

①役員の選任

支 部 長	石田 康行			
次期支部長	金子 聡			
副支部長	袋布 昌幹	Lim Lee Wah		
顧 問	板谷 芳京	上田 一正	上田 穰一	
太田 清久	北川 邦行	酒井 忠雄	佐々木与志実	
鈴木 正巳	田口 茂	柘植 新	津田 孝雄	
寺田喜久雄	永長 幸雄	中村 俊夫	野村 俊明	
原 稔	平出 正孝	舟橋 重信	本浄 高治	
三輪 智夫	村田 旭	山田 真吉	山寺 秀雄	
参 与	一ノ木 進	井村 久則	宇野 文二	
大谷 肇	小谷 明	小泉 貞之	竹内 豊英	
田中 智一	中田 隆二	早川 和一	樋上 照男	
藤本 忠蔵	湯地 昭夫			
監 事	片野 肇	馬場 嘉信		
庶務幹事	古川 真衣	松宮 弘明		
会計幹事	奥山 修司	勝又 英之		
常任幹事	内村 智博	江坂 幸宏	大橋 芳明	
北川 慎也	栗原 誠	巽 広輔	手嶋 紀雄	
永谷 広久	間中 淳			
幹 事	伊藤 雅章	今田 芳憲	植松 宏平	
太田 一徳	甲斐 徳高	香川 信之	加藤 仁志	
儀賀 義勝	北出 和久	金 継業	小島 慎司	
後反 克典	齊戸 美弘	笹木 哲也	佐々木洋子	
清水 雅裕	妹尾 健吾	高木 秀夫	高橋 史樹	
立石 一希	遠田 浩司	鳥羽 陽	丹羽 敏之	
丹羽 啓誌	東 由記雄	眞塩麻彩実	南谷 臣昭	
村上 博哉	安井 孝志	湯川 博	吉田 佳宏	
四津 佳伸	藁科 知之			

②研究発表会

- 1) 第50回中部化学関係学協会支部連合秋季大会（特別討論会）：11月9日・10日，信州大学，招待講演2件，依頼講演3件，一般講演28件を行った（参加者80名）。

③講演会

- 1) 北陸地区講演会：7月19日，大学コンソーシアム富山駅前キャンパスで開催，講演3件を行った（参加者30名）。
- 2) 静岡地区講演会：10月24日，静岡県立大学で開催，講演3件を行った（参加者40名）。
- 3) 愛知地区講演会：12月9日，中部大学名古屋キャンパスで講習会と併せて開催，講演3件を行った（参加者53名）。

④講習会

1) 第 29 回基礎及び最新の分析化学講習会：12 月 10 日，中部大学名古屋キャンパスで開催，講義 7 件を行った（参加者 59 名）。

⑤セミナー

1) 第 38 回分析化学中部夏期セミナー：9 月 2 日・3 日，インテック大山研修センターで開催した。招待講演 2 件，依頼講演 1 件，新製品紹介講演 3 件，ポスター発表 51 件を行った（参加者 95 名）。

2) 「分析中部・ゆめ 21」若手交流会・第 19 回高山フォーラム：11 月 15 日・16 日，高山市図書館お宿山久で開催，ポスター発表 48 件を行った（参加者 58 名）。

【近畿支部】

①役員を選任

支 部 長	茶山 健二	久本 秀明		
副支部長	川崎 英也	永井 秀典	吉田 裕美	
庶務幹事	末吉 健志	牧 秀志		
会計幹事	高原 晃里	池田 重良	池田 篤治	
参 与	荒川 隆一	尾崎 幸洋	垣内 隆	
池田 昌彦	小川 慎一郎	木村 優	紀本 岳志	
木原 壯林	木村 恵一	佐伯 正夫	佐藤 昌憲	
日下 謙	小島 次久	田中 稔	谷口 一雄	
澁谷 康彦	田中 久	寺部 茂	中川 照眞	
千熊 正彦	辻 治雄	藤原 英明	穂積啓一郎	
中原 武利	藤田 芳一	松下 隆之	八尾 俊男	
増田 嘉孝	松井 正和	渡會 仁		
脇阪 達司	渡辺 巖	奥田 浩子	小菅 俊二	
常任幹事	大城 敬人	鈴木 茂生	東海林竜也	
糟野 潤	北隅 優希	橋田紳乃介	松本 明弘	
塚越 一彦	内藤 豊裕	安川 智之	山口 敬子	
森澤 勇介	森田 成昭			
中山 茂吉				
幹 事	青山 佳弘	浅川 大地	飯田 琢也	
石切山一彦	石濱 泰	伊藤 滋之	岩井 貴弘	
岩月 聡史	岩本 仁志	上田 啓太	宇田 亮子	
遠藤 達郎	大内 幹雄	大塚 利行	大塚 浩二	
岡本 行広	小堤 和彦	小山 宗孝	門 晋平	
加納 健司	河合 潤	川井 隆之	川上奈津子	
河原 直樹	川元 達彦	北山 紗織	木村 敦臣	
久保 拓也	久保田直哉	久保 楚公二	倉内 奈美	
桑本 恵子	小池 亮	小林 典裕	坂本 英文	
佐々木健次	佐々木隆之	作花 哲夫	椎木 弘	
下条晃司郎	下山 昌彦	許 岩	白井 理	
杉原 崇康	杉山 雅人	鈴江 崇彦	鈴木 哲仁	
鈴木 雅登	諏訪 雅頼	瀬戸 康雄	宗林 由樹	
高木 達也	高橋 弘樹	高山 透	竹田さほり	
田中 章夫	田中 陽	田邊 一郎	民谷 栄一	
千葉 光一	塚原 聡	塚本 効司	辻 幸一	
都築 英明	角井 伸次	壺井 基裕	坪井 泰之	
天満 敬	土井 光暢	床波 志保	豊田 岐聡	
中口 謙	中澤 隆	中島 陽一	中田 靖	
中原 佳夫	並川 敬	西 直哉	西埜 誠	
野田 達夫	萩川 淳	長谷川 健	張野 宏也	
東 昇	藤居 義和	藤嶽 暢英	藤森 啓一	
藤原 学	布施 泰朗	保坂計一郎	細矢 憲	
堀田 弘樹	本間 秀和	前田 耕治	松尾 修司	
丸尾 雅啓	三木功次郎	三戸彩絵子	宮道 隆	
矢井 浩	村上 正裕	村松 康司	森内 隆代	
久嶋 撰子	安井 裕之	山垣 亮	山口 英一	
山本佐知雄	山本 茂樹	山本 雅博	横井 邦彦	
吉田 朋子	米倉 忠史	脇田 慎一		

②講演会

1) 第 14 回近畿分析技術研究奨励賞表彰式・受賞講演会：3 月 15 日，大阪科学技術センターで開催，表彰・受賞講演 2 件を行った。

2) 第 1 回支部講演会：4 月 12 日，大阪科学技術センターで開催，講演 2 件を行った。

3) 第 2 回支部講演会：7 月 19 日，大阪科学技術センターで開催，講演 2 件を行った。

4) 第 3 回支部講演会：12 月 6 日，大阪科学技術センターで

開催，講演 2 件を行った。

③講習会

1) ぶんせき講習会・基礎編その 1：5 月 10 日，大阪府立大学 I-site なんばで開催，講義・講習 4 件を行った（受講者 54 名）。

2) ぶんせき講習会・基礎編その 2：6 月 14 日，堺堀場製作所で開催，講義 4 件と実習を行った（受講者 20 名）。

3) ぶんせき講習会・実践編（第 66 回機器による分析化学講習会）：7 月 12 日，大塚グループ大阪本社大阪ビルで開催，講義 3 件と実習を行った（受講者 18 名）。

4) ぶんせき講習会・発展編：12 月 6 日，じばさんびる（姫路市）で開催，講義 4 件と実習を行った（受講者 8 名）。

④セミナー

1) 第 1 回提案公募型セミナー：7 月 24 日，近畿大学東大阪キャンパスで開催，講演 4 件を行った。（参加者 20 名）。

2) 第 13 回近畿支部夏季セミナー：8 月 1 日・2 日，アイ・アイ・ランド（大阪四条畷市）で開催，講演 5 件，ポスターセッションを行った（参加者 66 名）。

3) 第 2 回提案公募型セミナー：10 月 20 日・21 日，大阪市立大学学術情報総合センターで，講演 15 件とポスターセッションを行った（参加者 130 名）。

4) 第 3 回提案公募型セミナー：11 月 22 日，京都工芸繊維大学で開催，講演 6 件を行った（参加者 40 名）。

⑤支部ぶんきんニュースを 3 回発行した。

【中国四国支部】

①役員を選任

支 部 長	早川慎二郎			
次期支部長	中山 雅晴			
副支部長	若林 茂夫			
支部参与	池田 早苗	伊藤 一明	今井 嘉彦	
岩知道 正	奥村 稔	木下 光夫	熊丸 尚宏	
善木 道雄	田頭 昭二	竹味 弘勝	中野 恵文	
林 康久	平田 静子	廣川 健	藤原 照文	
北條 正司	真鍋 敬	宮田 晴夫	本仲 純子	
本水 昌二	森田 秀芳	山崎 恒博		
支部監事	田中 秀治	原 哲也		
庶務幹事	杉山 裕子	布目 陽子	水口 仁志	
会計幹事	竹田 一彦	西本 潤		
常任幹事	朝日 剛	一色 健司	石坂 昌司	
泉 雅典	今井 昭二	上田 真史	受田 浩之	
岡田 圭司	越智 一志	金田 隆	紙谷 浩之	
北出 哲朗	北山 宏三	小園 修治	座古 保	
高柳 俊夫	田所 大典	谷本 典之	名郷 洋信	
西 博行	藤原 薫	村上 良子	森本 稔	
藪谷 智規	横山 崇	吉田 和広	吉村 友宏	
和田 修治				
支部幹事	浅野 比	安達 健太	井上 裕文	
上田 忠治	牛島 淳憲	小野 浩	片岡 洋行	
川村 邦男	小松原恒生	島崎 洋次	管原 庄吾	
竹内 政樹	竹永 史典	武安 伸幸	谷村 俊史	
永阪 文惣	中田 健一	難波 亨	樋口 浩一	
藤井 健太	藤原 勇	瀧脇 雄介	實來佐和子	
森 勝伸	門木 秀幸	山下 浩	山本 剛	
山本 孝	吉岡 徹			

②研究発表会

1) 2019 年日本化学会中国四国支部大会：11 月 16 日・17 日，徳島大学常三島キャンパス（共催）（講演件数 361 件，参加登録者数 572 名）。

③講演会

1) 中国四国支部分析化学講演会：3 月 11 日，広島大学中央図書館ライブラリーホールで開催。伊藤一明氏（元近畿大工）の講演を行った（参加者 34 名）。

2) 岡山地区講演会（岡山地区分析技術懇談会と共催）：3 月 8 日，岡山大学理学部で，招待講演 1 件と学生+企業による研究発表 4 件を行った（参加者 26 名）。

3) 広島地区講演会（広島地区分析技術研究会と共催）：3 月 11 日，広島大学中央図書館ライブラリーホールにて，依頼講演 2 件を行った（参加者 34 名）。

4) 周南地区講演会（周南地区コンビナート分析研究会と共

催)：12月6日，東ソークラブにて，依頼講演3件を行った(参加者30名)。

5) 宇部・山陽小野田地区講演会(宇部地区分析技術研究会と共催)：2020年1月15日，山口大学常葉キャンパスにて，依頼講演3件を行った(参加者35名)。

山口地区講演会(山口機器分析研究会と共催)：2019年度は開催せず。

6) 愛媛地区講演会(愛媛県産業技術研究所，愛媛大学紙産業イノベーションセンターと共催)：12月17日，愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター研修室にて，依頼講演2件を行った。

7) 徳島地区講演会(徳島化学工学懇話会と共催)：2020年1月10日，徳島大学常三島キャンパス工業会館にて，講演2件と研究発表3件を行った(参加者42名)。

8) 鳥取地区講演会(鳥取総合分析研究懇談会と共催)：2020年2月7日，鳥取環境大学まちなかキャンパスにて，講演1件と話題提供1件を行った(参加者21名)。

9) 島根地区講演会(島根環境分析化学・陸水化学懇話会と共催)：2020年2月28日島根大学にて，講演1件と話題提供1件を行った(参加者15名)。

10) 高知地区講演会(高知地区分析技術懇談会と共催)：12月21日，高知大学朝倉キャンパスにて，依頼講演3件を行った(参加者61名)。

11) 外国人学者講演会：3月26日，岡山大学理学部11講義室にて開催(参加者15名)。

#### ④講習会

1) 第56回分析化学講習会：6月21日，岡山理科大学加計学園50周年記念館にて開催。講義9件，ランチョンセミナー1件を実施，参加者69名，実行委員長：横山 崇氏(岡山理科大学)。

#### ⑤セミナー

1) 第25回中国四国支部分析化学若手セミナー：6月22日・23日，休暇村帝釈峡にて開催。依頼講演2件および研究発表(ポスター)30件などを実施，参加者64名，世話人：石坂昌司氏(広島大理工)。

### 【九州支部】

#### ①役員を選任

支 部 長	浜瀬 健司				
次期支部長	黒田 直敬				
副支部長	加地 範匡	長野 正信			
参 与	飯盛喜代春	石黒 慎一	今任 稔彦		
岩崎 正武	大森 保	甲斐 雅亮	鎌田 薩男		
喜納 兼勇	黒木 広明	合屋周次郎	財津 潔		
城 昭典	高館 明	谷口 功	田端 正明		
出口 俊雄	中村 博	増田 義人	松本 清		
山田 淳	脇田 久伸				
監 査	高椋 利幸	松田 直樹			
庶務幹事	巴山 忠				
会計幹事	中園 学				
常任幹事	石川 洋哉	稲田 幹	井上 高教		
恩田 健	川上 健次	岸川 直哉	栗崎 敏		
宗 伸明	高橋 幸奈	竹中 繁織	西田 正志		
増田 寿伸	吉留 俊史				
幹 事	新垣 雄光	安藤 功	井倉 則之		
池上 天	石岡 寿雄	石田 雄士	井原 敏博		
今坂藤太郎	内原 博	宇都宮 聡	梅木 辰也		
大浦 博樹	王子田彰夫	大島 達也	大渡 啓介		
大庭 義史	大平 慎一	岡上 吉広	尾本 憲昭		
片山 佳樹	加藤 祐子	金房 純代	梶島 力		
梶島 正美	上畑桂太郎	河津 博文	川畑 明		
神崎 亮	北村 裕介	木下 将和	栗原 龍		
呉 行正	児玉谷 仁	財津 慎一	笹木 圭子		
佐藤しのぶ	佐藤 博	佐藤 正雄	澤津橋徹哉		
塩路 幸生	清水 陽一	下田 満哉	白土 英樹		
末田 慎二	高橋 浩司	竹原 公	田中 明		
田中 充	天日 美薫	戸田 敬	富永 昌人		
富安 卓滋	中島憲一郎	中嶋 直敏	中島 常憲		
中武 貞文	中野 幸二	中山 守雄	新留 康郎		
三宅 孝彰	能田 均	能登 征美	野間 誠司		

馬場 由成	原口 浩一	原田 明	原田 雅章
肥後 盛秀	前田 明広	真瀬田幹生	又吉 直子
松井 利郎	松野 康二	松森 信明	光井 康浩
満尾 良弘	満塩 勝	松本 篤彦	村田 正治
森 健	安田みどり	柳 雅之	藪下 彰啓
山口 敏男	山口 政俊	山下 将一	横山 拓史
吉田 亨次	吉田 秀幸	吉田 祐一	吉村 和久

#### ②研究発表会

1) 第56回化学関連支部合同九州大会(共催)：7月13日，北九州国際会議場で開催。優秀ポスター発表4件を「九州分析化学ポスター賞」として表彰。

#### ③講演会

1) 第31回九州分析化学若手の会・春の講演会(主催)：6月1日，九州大学医系キャンパス総合研究棟で開催。

2) 機器分析ワークショップ(主催)：6月28日(長崎大学薬学部)，11月29日(琉球大学工学部)で開催。

3) 九州支部産学連携講演会・見学会(主催)：10月17日，坂元醸造福山工場で開催。

#### ④講習会

1) 第60回分析化学講習会(主催)：8月6日～9日，福岡市産学連携交流センター，九州大学伊都キャンパス，九州大学馬出キャンパス，福岡大学七隈キャンパスで開催。

#### ⑤セミナー

1) 第37回九州分析化学若手の会・夏季セミナー(主催)：7月26日・27日，Hotel & Resorts SAGA-KARATSU(佐賀県唐津市)で開催。優秀ポスター発表6件を「九州分析化学若手賞」として表彰。

#### ⑥支部ニュース

支部ニュース第40号(8月)及び第41号(3月)を発行。

## 令和2年度事業計画書

(令和2年3月1日～令和3年2月28日)

### 1. 定時総会の開催(定款第17条)

第9回定時総会を下記のとおり行う。

日時 令和2年4月23日(木)14時より

場所 五反田文化会館(東京都品川区西五反田1-32-2)

参加予定者数100人。

### 2. 会誌、研究報告および資料の刊行(定款第5条(1))

①学会誌「ぶんせき」を下記のとおり発行する。

2020年第3号～2021年第2号 毎月1回，5日に発行(各号A4判，100ページ)。発行部数5,900

②和文論文誌「分析化学」を下記のとおり発行する。

第69巻第3号～第12号を7回，および第69巻第1号と2号の合併号を2021年1月に，それぞれ5日に発行(各号A4判，70ページ)発行部数2,000

③英文論文誌「Analytical Sciences」を下記のとおり発行する。

Vol. 36, No. 3～Vol. 37, No. 2を毎月1回，10日に発行(各号A4判，136ページ)発行部数620

④英文論文誌「X-ray Structure Analysis Online」を下記のとおり発行する。

Vol. 36, No. 3～Vol. 37, No. 2を毎月1回発行(webのみによる無料公開)

⑤メールマガジンを発行する。

⑥「分析士試験問題の解説」(本会)等の書籍を出版する。

### 3. 講演会、講習会および研究会の開催(定款第5条(2))

各支部ならびに研究懇談会が主催するものは別に記載する。

【研究発表会】

①第80回分析化学討論会を下記のとおり行う。

日時 令和2年5月23日(土)・24日(日)

場所 北海道教育大学札幌校(札幌市)参加予定者数700人，

演題数400件

産業界R&Dポスター紹介，高校生セッションなども併



せて行う予定。

- ②第69年會を下記のとおり行う。  
日時 令和2年9月16日(水)～18日(金)  
場所 名古屋工業大学(名古屋市)参加予定者数1,300人、  
演題数800件  
[講習会]参加予定者数:合計150名  
予定テーマ  
分析化学基礎セミナー(無機分析編)  
分析化学の基本と安全セミナー  
分析化学における不確かさ研修プログラム

#### 4. 調査、研究および建議(定款第5条(3))

[技能試験]参加予定試験所数:合計210試験所  
ISO/IEC17043に基づく分析試験所技能試験を行う。

予定テーマ

- ダイオキシン類分析技能試験(土壌) 50試験所  
プラスチック中有害金属成分の分析技能試験 65試験所  
河川水中の無機多元素分析技能試験 15試験所  
放射能分析技能試験(大豆) 50試験所  
土壌中の無機成分分析技能試験 30試験所  
[標準物質]  
①新標準物質 無機成分分析用マグネシウム標準物質 7品種  
の頒布を開始する。  
②これまで開発してきた各種標準物質の社会への供給活動を継  
続して実施する。そのために在庫切れの補給と安定性試験を  
行う。  
③在庫切れ品の補給:無機成分分析用河川水標準物質  
④安定性試験:プラスチック試料のフタル酸エステルの分析  
[教育用DVD]  
⑤現在頒布中の教育用ビデオを発展させたDVD教材の開発のた  
めの検討を行う。

#### 5. 研究の奨励および研究業績の表彰(定款第5条(4))

- ①学会賞,学会功労賞,技術功績賞,奨励賞,有功賞,「分析化  
学」論文賞,先端分析技術賞ならびに女性Analyst賞を下記  
のとおり表彰する。  
学会賞(3名以内),学会功労賞(5名以内),技術功績賞(3  
名以内),奨励賞(5名以内),有功賞(50名程度),「分析  
化学」論文賞(2編以内),先端分析技術賞(2名以内),女  
性Analyst賞(2名以内)  
②他機関による表彰および研究助成に対して会員を候補者とし  
て推薦する。

#### 6. その他目的を達成するために必要な事業(定款第5条(5))

- ①分析士認証試験を次のとおり行う。  
液体クロマトグラフィー分析士認証試験 初段～五段の各段  
位  
LC/MS分析士認証試験 初段～五段の各段位  
イオンクロマトグラフィー分析士認証試験 初段,二段,四  
段  
②分析士会を開催して講演会などの活動を行う。  
③アジアの分析化学者との連携をはかる。  
④ホームページを充実し,本会から会員への情報提供,会員相  
互のコミュニケーション促進などに役立てるとともに,本会  
の社会への窓口として有効に活用する。  
⑤本会の広報活動として,各種展示,分析化学討論会および年  
会におけるハイライト講演をまとめた冊子「展望とトピッ  
クス」の発行および記者会見などを行う。  
⑥若手交流会の活動を次のとおり行う。  
⑦各支部の若手交流会企画に対して共催・支援を行う。  
⑧分析化学討論会及び年会において若手ポスター賞選考を行  
う。

#### 7. 各研究懇談会の事業計画

- ①有機微量分析研究懇談会  
委員会を2回,第87回有機微量分析研究懇談会シンポジウム  
(計測自動制御学会・力学量計測部会と共催,日本分析化学  
会,日本化学会,日本薬学会協賛)を6月に島根県松江市(島  
根県民会館),講演会(第69年會会期中),第18回・19回ミ

クロ電子天びん技術研修会,および第7回マイクロ電子天びん  
セミナー(座学)を開催するほか会報第22号(2021年2月)  
を発行する。

- ②ガスクロマトグラフィー研究懇談会  
例會を数回,特別講演会,講習会(実習付含む)を開催する。  
例會の中で基礎講座を開催する(受講証を發行)。地方での研  
究懇談会活動を行う。分析化学年會で特別講演会を開催する。  
本部運営となった日中韓シンポジウムの開催(韓国)に協力  
する。JAIMAコンファレンスで講習会・講演会を実施する。ガ  
スクロマトグラフィー誕生60周年事業として講習会用書  
籍の出版準備をする。研究懇談会活動の過去記録,講演会資  
料等をホームページで公開する。運営委員会を隔月で開催す  
る。  
③高分子分析研究懇談会  
例會を5回(うち1回は1泊2日の夏期合宿として開催),高  
分子分析技術講習会を2回(前期:基礎編,後期:応用編),  
第25回高分子分析討論会を開催する。  
④X線分析研究懇談会  
例會を数回(うち1回は年會時に開催)と第56回X線分析討  
論会(10月,2日間,大阪市大)を開催するほか,第22回X  
線分析講習会(第10回蛍光X線分析の実際)(9月,3日間,  
麻布大学)を企画し,「X線分析の進歩」誌(第51集)を出版  
する。運営委員会は年に2回開催する。第15回浅田賞の選  
考・授与を行う。  
⑤分析試薬研究懇談会  
第69年會での講演会と幹事會および第17回ホスト-ゲスト・  
超分子化学シンポジウム(共催:大阪大学吹田キャンパス,  
6月)での招待講演を開催する。  
⑥溶液界面研究懇談会  
講演会,役員会をそれぞれ1回(第69年會会期中)開催する  
ほか,電子メールによる情報交換を行う。また,年會におい  
て界面に関するセッションを継続して開催できるように年會実  
行委員会への働きかけを行う。  
⑦液体クロマトグラフィー研究懇談会  
運営委員会を11回,例會を12回(うち1回は年會時に開催),  
液体クロマトグラフィー特別講演会・見学会を2回,第26回  
LC&LC/MSテクノプラザ,LC-&LC/MS-DAYS2020を開催す  
る。関東支部機器分析講習会第2コース「HPLCとLC/MSの基  
礎と実践」,JAIMAセミナーにおけるHPLC講習会などを支援  
する。「第4回LC分析士二段試験解説書」,「第4回LC分析士  
三段試験解説書」の出版に向け,それぞれ2日間の査読会を  
実施する。第80回分析化学討論会(北海道教育大学・札幌キ  
ャンパス)の前日に開催される第13回生涯分析談話会,第69  
年會(名古屋工業大学)の初日に開催される第14回生涯分  
析談話会をそれぞれ後援する。LC分析士,LC/MS分析士の認証  
試験(各5回)に対する認証専門委員会の構成を支援する。  
⑧化学センサー研究懇談会  
化学センサー・バイオセンサーをはじめ,関連分野の研究懇  
談会講演会(9月,分析化学年會会期中)を開催する。必要  
に応じて他の研究懇談会とのジョイント講演会も検討する。  
また化学センサー関連国際会議等,関連する情報の情報交換  
を行う。女性Analyst賞の推薦等,メール審議事項の承認を  
行う。  
⑨電気泳動分析研究懇談会  
講演会を1回(分析化学年會会期中)開催するほか,第40  
回キャピラリー電気泳動シンポジウム(SCE2020,第40回記  
念大会)(11月,岐阜)を共催する。電気泳動分析研究懇談会  
賞(寺部茂賞)の選考,褒章を行う。また,本懇談会ホーム  
ページ(HP)の整備を行い,シンポジウムの要旨集アーカイブ  
のHP上での公開ほか,プロトコル集の作成・掲載など内容  
の充実を図る。  
⑩イオンクロマトグラフィー研究懇談会  
IC企画講演会(9月,第69年會,名古屋工業大学),IC講習  
会及びJAIMAセミナー(11月,JASIS開催会期中)を開催予  
定。第37回IC討論会(12月,東京)を開催予定。運営委員  
会を年2回開催予定。IC分析士認証試験(2段6月29日,4  
段8月中旬,初段2021年1月下旬)の実施および分析士専門  
認証委員会を年2回開催予定。



- ⑪フローインジェクション分析研究懇談会  
第 57 回 FIA 講演会(神戸)を開催する。褒賞委員会を第 69 年会(9月,名古屋工業大学)会期中に開催する。第 80 回分析化学討論会(5月,北海道教育大学)および第 57 回 FIA 講演会会期中に「Journal of Flow Injection Analysis」(JFIA)誌編集委員会を開催するほか、第 57 回 FIA 講演会中に JAFIA 委員会を開催する。JFIA 誌を 2 回(6月,12月)発行する。日中韓分析化学シンポジウムの開催に協力する。Pacificchem 2020(12月ハワイ)において Innovations in Flow Injection Analysis and Related Techniques (#17)と題するシンポジウムを開催する。
- ⑫環境分析研究懇談会  
講演会を 2 回(第 69 年会会期中および 6 月または 12 月)、運営委員会を 1 回(第 69 年会会期中)開催する。また、他の研究懇談会や研究会との交流を深め、必要に応じてジョイント講演会を開催する。会員拡充に努め、メーリングリストとホームページを活用した情報発信・情報交換も適宜行う。
- ⑬表示・起源分析技術研究懇談会  
講演会を 3 回(第 69 年会会期中および年度前半・後半)、運営委員会を 2 回開催する。また、必要に応じて他研究会とのジョイント講演会を開催する。
- ⑭レアメタル分析研究懇談会  
講演会を 2 回(第 69 年会会期中および 6 月または 12 月)、運営委員会を 1 回(第 69 年会会期中)開催する。また必要に応じて関連する他の研究懇談会とのジョイント講演会を開催する。なおメーリングリストを作成し、適宜情報交換を行う。
- ⑮熱分析研究懇談会  
講演会を 1 回(9月,第 69 年会会期中)開催予定。第 4 回熱分析討論会(7月)を開催する。運営委員会を 1 回(7月)開催する。またメーリングリストを活用し、情報交換を行う。
- ⑯溶液反応化学研究懇談会  
講演会を 1 回と懇談会を 1 回(いずれも第 69 年会中)開催する。第 43 回溶液化学シンポジウム(鹿児島)を共催する。メーリングリストを作成し適宜情報交換を行う。
- ⑰受託分析研究懇談会  
総会とセミナー(11月)および見学会(6月)を各 1 回行う他、例会(技術情報交換会および運営委員会)を 4 回開催する。他の研究懇談会等とも交流を深めるとともに、会員間の情報交換を活発に行い、会員拡充を図る。
- ⑱電気分析化学研究懇談会  
第 69 年会において、依頼講演による講演会および運営委員会を各 1 回、開催するほか、メールによる情報交換を行う。HP の充実、新規運営委員の募集を図る。国際学会における協力・共同について議論する。
- ⑲ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会  
第 80 回分析化学討論会において、研究懇談会として討論主題「エクソソームの分離・解析技術の進展」を提案し、依頼講演と一般講演によるシンポジウムを実施する。第 69 年会会期中に運営委員会を開催する。他の懇談会とジョイント講演会を開催する。
- ⑳バイオ分析化学研究懇談会  
本研究懇談会は、バイオ分析化学の研究者間での情報交換や交流、共同研究の促進等を目的として、夏の合宿形式のセミナー(第 9 回 Chem-Bio Joint Seminar 2020(2020 年 8 月 1 日(土)~2 日(日)開催))や分析化学会年会でのシンポジウムを企画する。運営委員会をさらに拡充・充実させると共に、ホームページなどでバイオ分析研究懇談会をアピールして会員増強を図る。
- ㉑スクリーニング分析研究懇談会  
講演会を 2 回(年度前半・後半)、運営委員会を 1 回開催する。またメーリングリストを活用し、会員間での情報交換を行う。

## 8. 各支部の事業計画

定款第 5 条の事業を次のとおり行う。

### 【北海道支部】

- ①研究発表会：夏季研究発表会(7月上旬)、冬季研究発表会(1月中旬)を開催する。
- ②講演会：化学教育研究協議会(11月上旬)を開催する。
- ③セミナー：第 36 回分析化学緑陰セミナー(7月)、公開セミナ

ー(9月)、第 56 回氷雪セミナー(1月上旬)を開催する。

- ④支部ニュースの発行：7月,12月(年 2 回)

### 【東北支部】

- ①研究発表会：みちのく分析科学シンポジウム 2020, 令和 2 年度化学系学協会東北大会を開催する。
- ②講演会：各地区講演会を開催する。
- ③セミナー：分離機能とセンシング機能の化学セミナー 2020, 2020 年度日本分析化学会東北支部若手交流会を開催する。

### 【関東支部】

- ①講習会：機器分析講習会, 分析化学基礎実習講座
- ②地区活動等：新潟地区部会研究発表会, 茨城地区分析技術交流会, 群馬・栃木地区分析技術交流会, 山梨地区分析交流会, 横浜セミナー, 若手交流会
- ③表彰：新世紀賞・新世紀新人賞
- ④産官学連携：分析イノベーション交流会
- ⑤研究交流助成：研究フォーラム公募と助成
- ⑥事務局：新事務局設置
- ⑦上記支部活動広報のためのホームページほか、常任幹事会で必要と認められた事項

### 【中部支部】

- ①研究発表会：第 51 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(11月 7 日・8 日, 愛知工業大学)を共催の予定。
- ②講演会：愛知・三重・石川での地区講演会, および研究者招聘講演会の開催を予定
- ③講習会：第 30 回基礎および最新の分析化学講習会(6月 18 日, 愛知工業大学)。
- ④セミナー：第 39 回分析化学中部夏季セミナー(8月 28 日・29 日, 羽咋市)、「分析中部・ゆめ 21」若手交流会・第 20 回高山フォーラム(11月 13 日・14 日, 高山市図書館)を開催の予定。

### 【近畿支部】

- ①講演会：支部講演会(4月,7月,12月)、近畿分析技術研究奨励賞受賞講演会(3月)を開催の予定。
- ②講習会：ぶんせき講習会・基礎編(1,2)(5月,6月)、同・実践編(第 67 回機器による分析化学講習会)(7月)、同・発展編(11月)を開催の予定。
- ③セミナー：提案公募型事業(随時)、第 14 回近畿支部夏季セミナー「ぶんせき秘帖」(8月,淡路市)を開催予定。
- ④支部ニュースの発行(3回の発行予定)

### 【中国四国支部】

- ①講演会：岡山・広島・周南・山口・愛媛・徳島・鳥取・島根・高知地区講演会, 外国人学者講演会を開催の予定。
- ②講習会：第 57 回分析化学講習会(広島)を開催の予定。
- ③セミナー：第 26 回中国四国支部分析化学若手セミナー(高知)を開催の予定。

### 【九州支部】

- ①研究発表会：第 57 回化学関連支部合同九州大会(6月)を開催の予定。
- ②講演会：第 33 回若手研究講演会および第 38 回夏季セミナー(7月)、支部講演会・見学会(11月)のほか、機器分析ワークショップや外国人講演会を随時開催の予定。
- ③講習会：第 61 回分析化学講習会(8月)を開催の予定。
- ④その他：地区懇話会、支部ニュースの発行などを行う予定。

以上

# 令和元年度会計報告

## 貸借対照表

(令和2年2月29日現在)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	129,850,820	145,774,784	△ 15,923,964
売掛金	2,386,740	1,365,552	1,021,188
未収金	4,082,731	3,783,121	299,610
棚卸資産	22,604,042	23,785,697	△ 1,181,655
貯蔵品	96,931	147,860	△ 50,929
一年以内回収予定長期貸付金	199,920	199,920	0
前払金	10,555,979	8,852,149	1,703,830
仮払金	485,925	429,496	56,429
流動資産合計	170,263,088	184,338,579	△ 14,075,491
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	22,422,751	17,267,442	5,155,309
標準物質開発基金	25,736,510	27,025,048	△ 1,288,538
分析技術教育基金	12,993,092	12,992,364	728
国際交流事業基金	18,643,977	18,643,793	184
分析化学研究奨励基金	8,379,257	8,378,421	836
預り保証金引当預金	11,000,000	11,000,000	0
支部研究懇談会特定預金	19,595,151	20,497,746	△ 902,595
特定資産合計	118,770,738	115,804,814	2,965,924
(3) その他固定資産			
建物	9,809,760	10,272,001	△ 462,241
器具備品	10	7,570	△ 7,560
土地	30,607,799	30,607,799	0
ソフトウェア	1,103,850	0	1,103,850
電話加入権	28,000	28,000	0
敷金	100,000	100,000	0
長期貸付金	1,527,960	1,727,880	△ 199,920
その他固定資産合計	43,177,379	42,743,250	434,129
固定資産合計	171,948,117	168,548,064	3,400,053
資産合計	342,211,205	352,886,643	△ 10,675,438

## 貸借対照表

(令和2年2月29日現在)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	9,036,933	9,266,796	△ 229,863
前受会費	36,159,900	37,253,000	△ 1,093,100
前受購読料	3,106,000	3,361,600	△ 255,600
前受金	1,145,000	1,900,000	△ 755,000
預り金	2,063,290	1,229,790	833,500
仮受金	109,865	78,865	31,000
賞与引当金	2,472,636	2,421,399	51,237
未払消費税等	1,694,800	1,808,100	△ 113,300
流動負債合計	55,788,424	57,319,550	△ 1,531,126
2. 固定負債			
退職給付引当金	48,675,862	43,520,721	5,155,141
預り保証金	11,000,000	11,000,000	0
固定負債合計	59,675,862	54,520,721	5,155,141
負債合計	115,464,286	111,840,271	3,624,015
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
補助金	4,065,727	0	4,065,727
指定正味財産合計	4,065,727	0	0
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
2. 一般正味財産	222,681,192	241,046,372	△ 18,365,180
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	226,746,919	241,046,372	△ 14,299,453
負債及び正味財産合計	342,211,205	352,886,643	△ 10,675,438

## 正味財産増減計算書

(平成31年3月1日～令和2年2月29日)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	700	700	0
基本財産運用益	700	700	0
特定資産運用益	5,261	22,315	△ 17,054
退職給付引当資産運用益	168	22	146
標準物質開発基金運用益	1,462	12,949	△ 11,487
分析技術教育基金運用益	728	6,431	△ 5,703
国際交流事業基金運用益	184	187	△ 3
分析化学研究奨励基金運用益	836	836	0
預り保証金引当預金運用益	1,100	1,100	0
支部研究懇談会特定預金運用益	783	790	△ 7
受取入会金	160,000	167,000	△ 7,000
受取会費	80,555,534	84,064,734	△ 3,509,200
正会員会費	29,789,000	31,689,000	△ 1,900,000
学生会員会費	2,108,250	1,991,250	117,000
維持会員会費	16,103,200	16,398,900	△ 295,700
特別会員会費	16,110,000	15,780,000	330,000
公益会員会費	9,064,800	10,684,800	△ 1,620,000
支部研究受会費	7,380,284	7,520,784	△ 140,500
事業収益	133,080,149	127,457,040	5,623,109
購読料収入	5,437,775	5,595,447	△ 157,672
年会収入	18,871,820	14,861,723	4,010,097
討論会収入	17,080,060	14,652,977	2,427,083
講演会収入	11,126,000	9,702,409	1,423,591
講習会収入	22,671,444	27,533,232	△ 4,861,788
研究懇談会収入	453,600	362,964	90,636
技能試験収入	11,017,170	12,145,500	△ 1,128,330
分析士事業収入	5,142,072	4,974,225	167,847
印税収入	1,058,306	1,084,953	△ 26,647
教材頒布収入	1,175,835	1,410,000	△ 234,165
標準物質収入	14,905,968	11,350,662	3,555,306
広告料収入	15,640,661	15,761,959	△ 121,298
別刷頒布収入	8,236,070	7,213,640	1,022,430
複写権使用料収入	263,368	255,496	7,872
JIS改正受託収入	0	551,853	△ 551,853
受取補助金等	21,194,396	22,910,000	△ 1,715,604
受取国庫補助金	17,134,273	20,200,000	△ 3,065,727
受取民間補助金	3,876,123	2,370,000	1,506,123
受取自治体補助金	184,000	340,000	△ 156,000
受取寄附金	18,196	60,000	△ 41,804
受取寄附金	18,196	60,000	△ 41,804
雑収益	1,364,246	764,375	599,871
受取利息	47,732	52,930	△ 5,198
雑収益	1,316,514	711,445	605,069
経常収益計	236,378,482	235,446,164	932,318
(2) 経常費用			
事業費	206,322,484	195,714,539	10,607,945
給料手当	23,346,395	23,067,263	279,132
臨時雇賃金	17,740,936	17,987,012	△ 246,076
退職給付費用	3,227,118	1,867,414	1,359,704
法定福利費	4,147,534	4,012,261	135,273
会議費	21,142,199	20,122,592	1,019,607
旅費交通費	18,923,920	19,075,010	△ 151,090
通信運搬費	3,251,501	3,052,998	198,503
減価償却費	541,963	462,087	79,876
修繕費	1,045,440	968,006	77,434

## 正味財産増減計算書

(平成31年3月1日～令和2年2月29日)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
消耗品費	4,416,125	4,550,875	△ 134,750
印刷製本費	36,296,453	31,817,539	4,478,914
光熱水料費	373,935	517,650	△ 143,715
賃借料	9,853,995	8,367,993	1,486,002
支払リース料	44,892	50,863	△ 5,971
保険料	40,083	52,185	△ 12,102
諸謝金	9,518,746	10,847,158	△ 1,328,412
租税公課	3,658,600	5,301,539	△ 1,642,939
支払負担金	720,061	638,306	81,755
支払助成金	800,000	909,840	△ 109,840
委託費	44,386,610	38,537,382	5,849,228
表彰費	2,425,846	2,845,193	△ 419,347
雑費	420,132	663,373	△ 243,241
管理費	48,421,178	49,271,577	△ 850,399
給料手当	14,544,422	14,583,062	△ 38,640
臨時雇賃金	8,333,692	9,952,653	△ 1,618,961
退職給付費用	1,928,023	1,115,676	812,347
法定福利費	3,892,745	3,661,438	231,307
福利厚生費	73,730	47,144	26,586
会議費	169,540	108,186	61,354
旅費交通費	2,155,638	2,645,432	△ 489,794
通信運搬費	1,907,062	2,305,162	△ 398,100
減価償却費	28,188	29,495	△ 1,307
修繕費	261,360	242,002	19,358
消耗品費	370,132	602,472	△ 232,340
印刷製本費	46,970	224,000	△ 177,030
光熱水料費	98,930	90,528	8,402
賃借料	309,007	331,004	△ 21,997
支払リース料	3,632,102	3,367,642	264,460
租税公課	7,500	7,800	△ 300
支払負担金	1,846,148	1,663,618	182,530
支払助成金	0	0	0
委託費	8,729,518	8,120,091	609,427
雑費	86,471	174,172	△ 87,701
経常費用計	254,743,662	244,986,116	9,757,546
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 18,365,180	△ 9,539,952	△ 8,825,228
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 18,365,180	△ 9,539,952	△ 8,825,228
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 18,365,180	△ 9,539,952	△ 8,825,228
一般正味財産期首残高	241,046,372	250,586,324	△ 9,539,952
一般正味財産期末残高	222,681,192	241,046,372	△ 18,365,180
II 指定正味財産増減の部			0
受取補助金等	21,200,000	0	21,200,000
受取補助金	21,200,000	0	21,200,000
一般正味財産への振替額	△ 17,134,273	0	△ 17,134,273
当期指定正味財産増減額	4,065,727	0	4,065,727
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	4,065,727	0	4,065,727
III 正味財産期末残高	226,746,919	241,046,372	△ 14,299,453

正味財産増減計算書内訳表

(平成31年3月1日～令和2年2月29日)

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1.経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用益	0	700	0	700
基本財産運用益	0	700	0	700
特定資産運用益	1,619	3,642	0	5,261
退職給付引当資産運用益	0	168	0	168
標準物質開発基金運用益	0	1,462	0	1,462
分析技術教育基金運用益	0	728	0	728
国際交流事業基金運用益	0	184	0	184
分析化学研究奨励基金運用益	836	0	0	836
預り保証金引当預金運用益	0	1,100	0	1,100
支部研究懇談会特定預金運用益	783	0	0	783
受取入会金	0	160,000	0	160,000
受取会費	58,602,959	21,952,575	0	80,555,534
正会員会費	20,852,300	8,936,700	0	29,789,000
学生会員会費	1,475,775	632,475	0	2,108,250
維持会員会費	11,272,240	4,830,960	0	16,103,200
特別会員会費	11,277,000	4,833,000	0	16,110,000
公益会員会費	6,345,360	2,719,440	0	9,064,800
支部研究懇談会会費	7,380,284	0	0	7,380,284
事業収益	106,464,119	26,616,030	0	133,080,149
購読料収入	4,350,220	1,087,555	0	5,437,775
年会収入	15,097,456	3,774,364	0	18,871,820
討論会収入	13,664,048	3,416,012	0	17,080,060
講演会収入	8,900,800	2,225,200	0	11,126,000
講習会収入	18,137,155	4,534,289	0	22,671,444
研究懇談会収入	362,880	90,720	0	453,600
技能試験収入	8,813,736	2,203,434	0	11,017,170
分析士事業収入	4,113,658	1,028,414	0	5,142,072
印税収入	846,645	211,661	0	1,058,306
教材頒布収入	940,668	235,167	0	1,175,835
標準物質収入	11,924,774	2,981,194	0	14,905,968
広告料収入	12,512,529	3,128,132	0	15,640,661
別刷頒布収入	6,588,856	1,647,214	0	8,236,070
複写権使用料収入	210,694	52,674	0	263,368
受取補助金等	21,194,396	0	0	21,194,396
受取国庫補助金	17,134,273	0	0	17,134,273
受取民間補助金	3,876,123	0	0	3,876,123
受取自治体補助金	184,000	0	0	184,000
受取寄附金	18,196	0	0	18,196
受取寄附金	18,196	0	0	18,196
雑収益	1,318,063	46,183	0	1,364,246
受取利息	1,549	46,183	0	47,732
雑収益	1,316,514	0	0	1,316,514
経常収益計	187,599,352	48,779,130	0	236,378,482
(2)経常費用				
事業費	206,322,484	0	0	206,322,484
給料手当	23,346,395	0	0	23,346,395
臨時雇賃金	17,740,936	0	0	17,740,936
退職給付費用	3,227,118	0	0	3,227,118
法定福利費	4,147,534	0	0	4,147,534
会議費	21,142,199	0	0	21,142,199

正味財産増減計算書内訳表

(平成31年3月1日～令和2年2月29日)

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
旅費交通費	18,923,920	0	0	18,923,920
通信運搬費	3,251,501	0	0	3,251,501
減価償却費	541,963	0	0	541,963
修繕費	1,045,440	0	0	1,045,440
消耗品費	4,416,125	0	0	4,416,125
印刷製本費	36,296,453	0	0	36,296,453
光熱水料費	373,935	0	0	373,935
賃借料	9,853,995	0	0	9,853,995
支払リース料	44,892	0	0	44,892
保険料	40,083	0	0	40,083
諸謝金	9,518,746	0	0	9,518,746
租税公課	3,658,600	0	0	3,658,600
支払負担金	720,061	0	0	720,061
支払助成金	800,000	0	0	800,000
委託費	44,386,610	0	0	44,386,610
表彰費	2,425,846	0	0	2,425,846
雑費	420,132	0	0	420,132
管理費	0	48,421,178	0	48,421,178
給料手当	0	14,544,422	0	14,544,422
臨時雇賃金	0	8,333,692	0	8,333,692
退職給付費用	0	1,928,023	0	1,928,023
法定福利費	0	3,892,745	0	3,892,745
福利厚生費	0	73,730	0	73,730
会議費	0	169,540	0	169,540
旅費交通費	0	2,155,638	0	2,155,638
通信運搬費	0	1,907,062	0	1,907,062
減価償却費	0	28,188	0	28,188
修繕費	0	261,360	0	261,360
消耗品費	0	370,132	0	370,132
印刷製本費	0	46,970	0	46,970
光熱水料費	0	98,930	0	98,930
賃借料	0	309,007	0	309,007
支払リース料	0	3,632,102	0	3,632,102
租税公課	0	7,500	0	7,500
支払負担金	0	1,846,148	0	1,846,148
委託費	0	8,729,518	0	8,729,518
雑費	0	86,471	0	86,471
経常費用計	206,322,484	48,421,178	0	254,743,662
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 18,723,132	357,952	0	△ 18,365,180
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 18,723,132	357,952	0	△ 18,365,180
2.経常外増減の部				
(1)経常外収益				
固定資産売却益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 18,723,132	357,952	0	△ 18,365,180
一般正味財産期首残高	176,162,167	64,884,205	0	241,046,372
一般正味財産期末残高	157,439,035	65,242,157	0	222,681,192
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	4,065,727	0	0	4,065,727
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	4,065,727	0	0	4,065,727
Ⅲ 正味財産期末残高	161,504,762	65,242,157	0	226,746,919



## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

- (1) 満期保有目的有価証券の評価基準及び評価方法  
償却原価法を採用している。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
先入先出法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産  
建物…定額法を採用している。(ただし、平成10年3月以前に取得した建物については定率法を採用している。)  
器具備品…定率法を採用している。  
無形固定資産  
ソフトウェア…定額法を採用している。
- (4) 引当金の計上基準  
賞与引当金…職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期の負担に帰属する金額を計上している。  
退職給付引当金…職員の退職給与の支給に備えるため、退職金支給規程に基づき期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 2. 会計方針の変更

消費税等の会計処理につき、従来税抜経理を採用していたが当年度より税込経理に変更している。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	17,267,442	5,155,309	0	22,422,751
標準物質開発基金	27,025,048	1,462	1,290,000	25,736,510
分析技術教育基金	12,992,364	728	0	12,993,092
国際交流事業基金	18,643,793	184	0	18,643,977
分析化学研究奨励基金	8,378,421	836	0	8,379,257
預り保証金引当預金	11,000,000	0	0	11,000,000
支部研究懇談会特定預金	20,497,746	783	903,378	19,595,151
小 計	115,804,814	5,159,302	2,193,378	118,770,738
合 計	125,804,814	5,159,302	2,193,378	128,770,738

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	-	(10,000,000)	-
小 計	10,000,000	-	(10,000,000)	-
特定資産				
退職給付引当資産	22,422,751	-	-	(22,422,751)
標準物質開発基金	25,736,510	-	(25,736,510)	-
分析技術教育基金	12,993,092	-	(12,993,092)	-
国際交流事業基金	18,643,977	-	(18,643,977)	-
分析化学研究奨励基金	8,379,257	-	(8,379,257)	-
預り保証金引当預金	11,000,000	-	-	(11,000,000)
支部研究懇談会特定預金	19,595,151	-	(19,595,151)	-
小 計	118,770,738	-	(85,347,987)	(33,422,751)
合 計	128,770,738	-	(95,347,987)	(33,422,751)

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期期末残高  
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取 得 価 額	減 価 償 却 累 計 額	当 期 末 残 高
建物	57,522,500	47,712,740	9,809,760
器具備品	5,779,913	5,779,903	10
ソフトウェア	1,204,200	100,350	1,103,850
合 計	64,506,613	53,592,993	10,913,620

6. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益  
 該当事項はありません。

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高  
 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交 付 者	前 期 末 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額	当 期 末 残 高	貸借対照表上の記載区分
国庫補助金	日本学術振興会	0	21,200,000	17,134,273	4,065,727	指定正味財産
自治体補助金	唐津市	0	134,000	134,000	0	-
	高山市	0	50,000	50,000	0	-
民間補助金	化学物質評価研究機構等	0	3,876,123	3,876,123	0	-
合 計		0	25,260,123	21,194,396	4,065,727	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は以下の通りです。

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取国庫補助金計上による振替額	17,134,273
合 計	17,134,273

## 付 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細  
 財務諸表に対する注記3「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載をしているため、内容の記載を省略する。
2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目的使用	その 他	
賞与引当金	2,421,399	2,472,636	2,421,399	0	2,472,636
退職給付引当金	43,520,721	5,155,141	0	0	48,675,862

財 産 目 録

(令和2年2月29日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として(本部現金254,011円)	941,114
預金	預金合計		128,909,706
	普通預金		34,068,331
	三井住友銀行五反田支店	本部	8,977,461
	三井住友銀行五反田支店	本部講習会口	3,181,766
	三井住友銀行新宿通支店	本部	2,473,715
	三井住友銀行五反田支店	本部分析士口	608,948
	三井住友銀行五反田支店	本部科研費口	4,065,727
	みずほ銀行五反田支店	本部	14,678,604
	三井住友銀行中もず支店	若手交流会	82,110
	支部/普通預金		39,124,042
	北洋銀行本店営業部	北海道支部	2,319,341
	七十七銀行大学病院前支店	東北支部	3,541,826
	みずほ銀行五反田支店	関東支部	20,149,139
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	2,981,949
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	4,702,533
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部近畿分析技術研究懇話会	2,066,547
	広島銀行西条支店	中国四国支部	3,362,707
	研究懇談会/普通預金		30,393,219
	みずほ銀行南大沢支店	環境分析研究懇談会	503,338
	武蔵野銀行みずほ台支店	有機微量分析研究懇談会	3,904,603
	りそな銀行五反田支店	ガスクロマトグラフィー研究懇談会	1,002,762
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	11,054,461
	大阪信用金庫杉本町支店	X線分析研究懇談会	1,301,766
	みずほ銀行福島支店	X線分析研究懇談会	269,648
	福岡銀行周船寺支店	分析試薬研究懇談会	481,272
	りそな銀行五反田支店	液体クロマトグラフィー研究懇談会	6,816,419
	三井住友銀行中もず支店	化学センサー研究懇談会	59,113
	十六銀行黒野支店	電気泳動分析研究懇談会	596,591
	荘内銀行宝田支店	電気泳動分析研究懇談会	198,062
	四国銀行朝倉支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,558,551
	三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会	1,558,000
	三菱UFJ銀行平塚支店	熱分析研究懇談会	266,679
	三井住友銀行八千代支店	レアメタル分析研究懇談会	19,757
	京都銀行下鴨支店	電気分析化学研究懇談会	58,800
	みずほ銀行渋谷中央支店	バイオ分析研究懇談会	25,664
	三菱UFJ銀行上野支店	スクリーニング分析研究懇談会	144,728
	北洋銀行あいの里支店	第80回分析化学討論会実行委員会	573,005
	ゆうちょ銀行(通常貯金)		10,264,260
		年会	1,766,004
		近畿支部	1,154,670
		九州支部	3,966,756
		受託分析研究懇談会	949,186
		溶液反応化学研究懇談会	24,001
		有機微量分析研究懇談会	1,698,167
		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	349,672
		フローインジェクション分析研究懇談会	216,365
		溶液界面研究懇談会	50,459
		ナノ・マイクロ化学分析研究懇談会	88,980
	ゆうちょ銀行(振替口座)	運営資金として	11,978,176
		本部	4,943,290
		大会口	54,000
		環境分析研究懇談会	604,693
		有機微量分析研究懇談会	352,132
		X線分析研究懇談会	1,144,687
		イオンクロマトグラフィー研究懇談会	103
		フローインジェクション分析研究懇談会	2,501,193
		表示・起源分析技術研究懇談会	2,361,406
		レアメタル分析研究懇談会	16,672

財 産 目 録

(令和2年2月29日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
	定期預金		<b>3,081,678</b>
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	505,998
	広島銀行西条支店	中国四国支部	1,300,000
	りそな銀行五反田支店	高分子分析研究懇談会	1,275,680
売掛金	標準物質, 教育 DVD	公益目的事業での販売商品に対する未収額	<b>2,386,740</b>
未収入金	広告料, 雑誌	公益目的事業で発行している雑誌の別刷印刷 雑誌に掲載している広告料に対する未収額	<b>4,082,731</b>
前払金	討論会・年会実行委員会他		<b>10,555,979</b>
年会		第69年会実行委員会	133,296
討論会		第80回分析化学討論会実行委員会	425,052
標準物質		標準物質作製費用	9,007,372
その他		業者委託費	990,259
棚卸資産	会誌/標準物質/教育DVD/分析士解説書	公益目的事業で販売している商品	<b>22,604,042</b>
標準物質			18,930,514
DVD			1,999,700
分析士解説書			1,631,725
その他			42,103
貯蔵品	切手, 印紙, はがき,	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	<b>96,931</b>
一年以内回収長期貸付金	職員住宅購入資金貸付	長期貸付金の一年以内回収予定額	<b>199,920</b>
仮払金			<b>485,925</b>
労働保険料		労働保険料未精算分	485,925
流動資産合計			<b>170,263,088</b>
(固定資産)			
基本財産			
定期預金		運用益を管理費の財源として使用	<b>10,000,000</b>
	三井住友信託銀行芝営業部		10,000,000
特定資産			
退職給付引当資産		職員の退職金の支払いのために使用	<b>22,422,751</b>
普通預金	みずほ銀行五反田支店		22,422,751
標準物質開発基金		支払の財源として使用 標準物質開発事業の積立資産であり, 運用益を本事業の財源として使用	<b>25,736,510</b>
普通預金	三井住友銀行五反田支店		5,736,510
定期預金	三井住友銀行五反田支店		20,000,000
預り保証金引当預金			<b>11,000,000</b>
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	会誌広告で(株)明報社から受け入れた預金 であり, 運用益を本事業の財源として使用	10,000,000
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部	標準物質の販売で西進商事(株)から受入れた 預金で運用益を本事業の財源として使用	1,000,000
国際交流事業基金		研究会事業の積立資産であり, 運用益を 本事業の財源として使用	<b>18,643,977</b>
普通預金	三井住友銀行五反田支店		18,643,977
分析化学研究奨励基金		公益目的保有財産であり, 運用益を研究の奨 励及び研究業績の表彰事業の財源として使用	<b>8,379,257</b>
定期預金	三井住友信託銀行芝営業部		8,379,257
分析技術教育基金		講演会事業の積立資産であり, 運用益を 本事業の財源として使用	<b>12,993,092</b>
普通預金	三井住友銀行五反田支店		2,993,092
定期預金	三井住友銀行五反田支店		10,000,000
支部研究懇談会特定預金		各支部研究懇談会の積立資産であり, 運用益 を本事業の財源として使用	<b>19,595,151</b>
普通預金	北洋銀行本店営業部	北海道支部	0
	七十七銀行大学病院前支店	東北支部企画基金	1,497,436
	七十七銀行大学病院前支店	東北支部活性化基金	3,018,749
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	1,850,062
	みずほ銀行名古屋支店	中部支部	621,450
	りそな銀行御堂筋支店	近畿支部	1,201,252
	四国銀行朝倉支店	イオンクロマトグラフィー研究懇談会	1,622,714
	三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会国際会議	432,280
	三菱UFJ銀行藤ヶ丘支店	フローインジェクション分析研究懇談会技術論文	340,858
	大阪信用金庫杉本町支店	X線分析研究懇談会	2,327,623

## 財 産 目 録

(令和2年2月29日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額	
その他 固定資産	定期預金	みずほ銀行五反田支店 りそな銀行五反田支店 りそな銀行五反田支店	関東支部 高分子研究懇談会 液体クロマトグラフィー研究懇談会	1,660,170 3,023,241 1,999,316
	建物	220.4 m <sup>2</sup> 東京都品川区西五反田		9,809,760
	器具備品	東京都品川区西五反田	主たる事務所で保有し、公益目的事業及び法人の管理業務で使用	10
	土地	30.22 m <sup>2</sup> 東京都品川区西五反田	主たる事務所 公益目的事業及び法人の管理業務で使用している	30,607,799
	電話加入権	3490-3351 他 6 本	公益目的事業及び法人の管理業務で使用	28,000
	ソフトウェア	論文投稿管理システム	公益目的事業で使用している	1,103,850
	敷金	近畿支部	入居している大阪科学センターに対する敷金	100,000
長期貸付金	職員住宅購入資金貸付		1,527,960	
固定資産合計			171,948,117	
資産合計			342,211,205	
(流動負債)				
未払金	環境テクノス他	標準物質管理業務に対する未払額など	9,036,933	
前受会費	翌年度の会費の前受額	会員からの翌年度分の会費の前受額	36,159,900	
前受金	高分子分析研究懇談会他	翌年度実施技術講習会の前受額	1,145,000	
前受購読料	翌年度購読料の前受額	公益目的事業で発行する雑誌購読料の前受額	3,106,000	
預り金	所得税 社会保険料等		2,063,290	
健康保険料			305,530	
厚生年金保険料			1,059,658	
源泉所得税			197,132	
住民税			194,700	
その他			306,270	
年会			0	
仮受金			109,865	
賞与引当金	職員5名の夏期賞与	職員5名の夏期賞与の支払いに備えたもの	2,472,636	
未払消費税等			1,694,800	
流動負債合計			55,788,424	
(固定負債)				
退職給付引当金	職員5名の退職金	職員5名の退職金の支払いに備えたもの	48,675,862	
預り保証金	(株)明報社 西進商事(株)	会誌広告に関して受け入れたもの 標準物質の販売に関して受入れたもの	11,000,000	
固定負債合計			59,675,862	
負 債 合 計			115,464,286	
正 味 財 産			226,746,919	

## 監事監査報告書

公益社団法人日本分析化学会

会長 内山 一美 殿

令和2年3月30日

公益社団法人日本分析化学会

監事 宮村 一夫 

監事 大塚 浩二 

私たち監事は、公益社団法人日本分析化学会の平成31年3月1日から令和2年2月29日までの令和元年度の監査を日本分析化学会監事監査規程に基づき実施しましたので、次のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、日本分析化学会監事監査規程第7条に定める監査事項について、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人から業務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、令和元年度事業報告を受領し、さらに、計算書類（貸借対照表、貸借対照表内訳表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する注記）及び附属明細書並びに財産目録を受領し、これらの書類について監査しました。

### 2. 監査結果

- 一、事業報告は、法令及び定款に従い、当社団法人の状況を正しく示していると認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- 三、計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、当社団法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

## 令和2年度予算書

(令和2年3月1日～令和3年2月28日)

(単位:円)

科 目	令和2年度予算額(税込)	令和元年度予算額(税抜)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	700	20,000	-19,300
基本財産受取利息	700	20,000	-19,300
特定資産運用益	21,300	16,000	5,300
退職給付引当資産	100	100	0
標準物質開発基金	13,000	5,800	7,200
分析技術教育基金	6,000	2,000	4,000
国際交流事業基金	200	2,900	-2,700
分析化学研究奨励基金	800	200	600
預り保証金引当預金	1,100	3,000	-1,900
支部研究懇談会特定預金	100	2,000	-1,900
受取入会金	172,000	195,000	-23,000
受取入会金	172,000	195,000	-23,000
受取会費	79,698,000	85,262,000	-5,564,000
正会員受取会費	30,000,000	34,000,000	-4,000,000
学生会員受取会費	1,880,000	1,550,000	330,000
維持会員受取会費	15,500,000	16,080,000	-580,000
特別会員受取会費	15,000,000	16,260,000	-1,260,000
公益会員受取会費	10,000,000	10,000,000	0
支部研究懇談会受取会費	7,318,000	7,372,000	-54,000
賛助会員受取会費	0	0	0
事業収益	132,233,000	127,194,000	5,039,000
購読料収入	5,994,000	5,000,000	994,000
年会収入	17,000,000	12,330,000	4,670,000
討論会収入	10,487,000	12,920,000	-2,433,000
講演会収入	8,010,000	7,840,000	170,000
講習会収入	21,818,000	24,984,000	-3,166,000
研究懇談会収入(含む若手の会)	490,000	520,000	-30,000
技能試験収入	13,365,000	12,000,000	1,365,000
分析士事業収入	5,372,000	4,500,000	872,000
支部研究懇談会討論会収入	5,980,000	0	5,980,000
印税収入	406,000	500,000	-94,000
教材頒布収入	1,500,000	2,300,000	-800,000
標準物質収入	16,230,000	13,000,000	3,230,000
広告料収入	19,143,000	22,500,000	-3,357,000
別刷頒布収入	5,304,000	7,000,000	-1,696,000
複写権使用料収入	1,130,000	200,000	930,000
JIS改正受託収入	0	400,000	-400,000
事務委託収入	4,000	1,200,000	-1,196,000
受取補助金等	23,778,000	23,300,000	478,000
受取国庫補助金	22,300,000	21,200,000	1,100,000
受取民間補助金	1,278,000	2,000,000	-722,000
自治体補助金	200,000	100,000	100,000
本部からの補助金	0	0	0
その他からの補助金	0	0	0
受取補助金	0	0	0
受取寄付金	70,000	500,000	-430,000
受取寄付金	70,000	500,000	-430,000
雑収益	1,679,000	651,000	1,028,000
受取利息収入	53,000	55,000	-2,000
雑収入	1,626,000	596,000	1,030,000
<b>経常収益計</b>	<b>237,652,000</b>	<b>237,138,000</b>	<b>514,000</b>
(2) 経常費用			
事業費	199,404,000	188,303,000	11,101,000
給与手当	25,716,000	23,000,000	2,716,000
臨時雇賃金	19,234,000	19,000,000	234,000
退職給付費用	2,028,000	2,000,000	28,000
法定福利費	5,216,000	4,000,000	1,216,000
会議費	22,730,000	18,000,000	4,730,000



科 目	令和2年度予算額(税込)	令和元年度予算額(税抜)	増 減
旅費交通費	14,365,000	16,264,000	-1,899,000
通信運搬費	2,517,000	3,348,000	-831,000
減価償却費	400,000	500,000	-100,000
修繕費	968,000	1,000,000	-32,000
消耗品費	3,750,000	3,300,000	450,000
印刷製本費	34,697,000	30,000,000	4,697,000
光熱水料費	536,000	280,000	256,000
賃借料	5,249,000	1,359,000	3,890,000
支払リース料	50,000	400,000	-350,000
支払保険料	71,000	75,000	-4,000
諸謝金	9,305,000	10,000,000	-695,000
租税公課	4,895,000	5,100,000	-205,000
支払負担金	593,000	640,000	-47,000
支払助成金	660,000	770,000	-110,000
内部支払助成金	0	0	0
委託費	43,653,000	42,000,000	1,653,000
表彰費	2,171,000	2,400,000	-229,000
雑費	600,000	867,000	-267,000
会長企画戦略経費	0	4,000,000	-4,000,000
記念行事費・情報交換会費	0	0	0
管 理 費	38,248,000	48,835,000	-10,587,000
給与手当	13,251,000	15,400,000	-2,149,000
臨時雇賃金	2,608,000	9,000,000	-6,392,000
退職給付費用	1,045,000	1,000,000	45,000
法定福利費	2,688,000	3,000,000	-312,000
福利厚生費	47,000	70,000	-23,000
会議費	108,000	150,000	-42,000
旅費交通費	2,607,000	2,200,000	407,000
通信運搬費	1,872,000	1,500,000	372,000
減価償却費	27,000	35,000	-8,000
修繕費	315,000	200,000	115,000
消耗品費	622,000	1,500,000	-878,000
印刷製本費	225,000	300,000	-75,000
光熱水料費	112,000	50,000	62,000
賃借料	332,000	210,000	122,000
支払リース料	3,361,000	2,900,000	461,000
租税公課	7,000	20,000	-13,000
支払負担金	1,623,000	1,600,000	23,000
委託費	7,224,000	8,600,000	-1,376,000
雑費	174,000	100,000	74,000
会長企画戦略経費	0	1,000,000	-1,000,000
経 常 費 用 計	237,652,000	237,138,000	514,000
評価損益調整前当期増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	222,681,192	241,046,372	-18,365,180
一般正味財産期末残高	222,681,192	241,046,372	-18,365,180
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	4,065,727	0	4,065,727
指定正味財産期末残高	4,065,727	0	4,065,727
III 正味財産期末残高	226,746,919	241,046,372	-14,299,453